

えともん No.85

行動する
はつらつたる
商工会議所



かんちゃん

青函トンネル開通記念博覧会

青函博



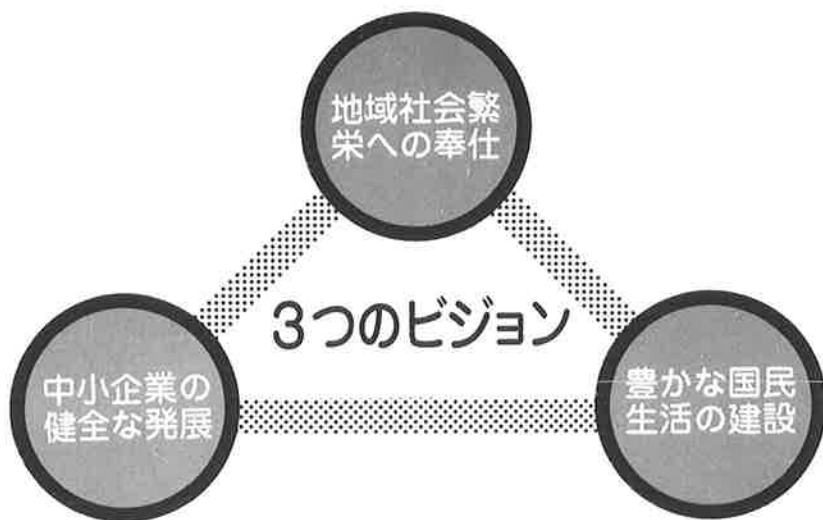
函館EXPO'88

●会期/昭和63年7月9日⇒9月18日
●会場/函館市井天町地区

■ 函館商工会議所報 ■

1988

4月号



はこしんは豊かな暮らしと
 確かな未来の実現に
 お手伝いいたします。



本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241代

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247代	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820代
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221代	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711代
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236代	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL 73-2151代
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511代	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111代
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646代	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501代
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238代	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121代
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492代	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611代
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521代			

視点	1
会議所の動き	2
地域の景気	6
調査レポート	8
アドバイスコナー	10
寄稿文	12
Q & A	14
青函博コナー	16
テイータイム	18
ご案内	20



● 視点

春の訪れとともに粉じんのひどかった道路も、ようやくきれいになってきました。

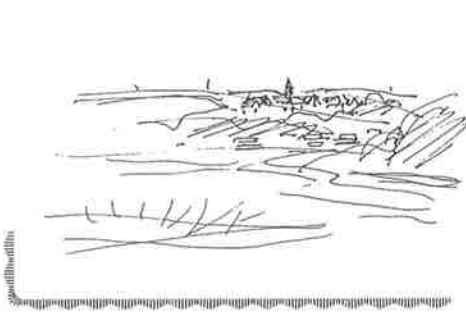
原因がはつきりとし、健康にも影響があるとされているこの粉じん公害が解消できないのは何故でしょうか。一つはこの原因が個々の自動車という不特定多数であることと、スパイクタイヤ禁止による事故の増加のおそれということではないかと思えます。

前段は地域社会の問題としてみると理由にはなりません。例えば、市内のどこかの工場が規定以上の汚水を排出していることが解れば、すぐ営業停止などの処分を受けるのは明白です。原因がわかっているのにそれを取除くことができないというのは非常に残念です。事故の増加についても積雪寒冷の時期に夏と同じ走り方をするのでは、スパイクをつけていたとしても避けられるものではありません。

すべての車がスノータイヤであれば、制動距離も略同じになり、冬期間の速度制限の強化とあわせれば、冬型事故の減少にもつながると思います。スノーでは坂も上れないというのであれば四輪駆動車にすればよいでしょう。

何よりも大切なのは、私達の生活環境を大切にすることという基本を忘れてはいけないことです。車は生活を豊かにすることはできましたが、一方では生活環境を破壊しています。道路の補修には数億のお金が必要とのことですが、このお金があれば無公害の市電位は楽に維持できます。一刻も早く粉じん公害をなくしたいものです。

会議所の動き



青函インターロック推進を決議 63年度事業計画・収支予算案も!

第5回常会
第5回常議員総議

本商工会議所第五回通常議員総会は三月二十五日本所会議室で開かれ、議員九十三人（うち委任状提出者三十九人）が出席し、あらかじめ三月十五日の第7回常議員会に於て総会に提案することを議決された昭和六十三年事業計画（案）および収支予算（案）などを審議し、いずれも原案通り承認しました。

議事に先立ち、川田会頭から当市経済環境は順調に拡大しており今年七月開かれる青函博の開催準



備も整いつつあるなど、経済界を取り巻く諸問題に触れ、今後、青函両地域を結ぶ新たな経済圏形成のための青函インターロック構想やテクノポリスなどの推進について、改めて経済界のより一層の結束が必要である旨の挨拶がありました。

次いで議事に入り、報告事項に引き続き五議案を審議しましたがその概要は次の通りです。

◎昭和六十三年事業計画（案）

本年度の事業方針では、従来の地域商工業の改善発達のための事業に、新たに青函インターロック交流圏構想の推進などを加えた次の事業計画が承認されました。

I、地域振興対策

- 1、青函トンネル開通記念博覧会の開催と青函圏特別委員会の設置
- 2、企業誘致の推進
- 3、道立工業技術センターの活用による技術水準の向上と新

技術の開発

- 4、函館駅前地区の再開発計画の策定と事業の推進

- 5、コミュニティ・マート計画（本町・五稜郭地区）事業実施の促進

- 6、ニューメディアに対する調査研究

- 7、盛岡・函館間の新幹線建設促進と現函館駅への乗入れ運動の展開

- 8、磁気浮上式鉄道等の建設促進

- 9、北海道縦貫自動車道の函館側からの早期着工と大沼トンネルの早期完成

- 10、函館空港滑走路三千メートル延長工事の早期着工と新規路線の開設及び幹線の複数社乗入れ並びに運用時間の延長

- とC・I・Q体制そして管制官の常駐

- 11、国立函館大学設置の促進

- II、商工業の振興対策
- (1) 税制改革に対する調査研究
- (2) 中小企業振興対策

- 1、地場工業の振興と技術向上対策の推進

2、中小企業の近代化、高度化
対策の推進

3、中小企業に対する金融制度
の活用促進

4、倒産防止対策の充実と共済
制度の強化拡大

5、大企業と中小企業との分野
調整活動の推進

6、大規模小売店及び消費生活
協同組合等の商業活動に対す
る適正な調整

7、諸刊行物による経済情報活
動の促進

(3) 小規模事業対策

1、相談指導体制の充実強化

2、小企業等経営改善資金など
融資制度の運用拡大

3、各種制度及び施策の普及推
進

(4) 観光振興対策

1、観光資源、観光基盤の整備
促進

。五稜郭「箱館奉行所」復元
の促進

。西部地区の街並保存の推進
とその活用
。ウォーターフロント再開発
の推進

。湯川温泉活性化への協力
。文学館の早期設置と博物館
の建設調査

2、観光客誘致対策の推進と受
入れ体制の充実強化

3、広域観光圏確立のため関係
団体等との連携強化

4、函館・大沼国際観光モデル
地区整備実施計画の推進

5、観光通年化対策の促進

6、観光土産品などの開発研究
と啓発強化

7、各種行催事への積極的参加
と協力

(5) 亀田、銭亀沢両商工会との連
携強化

Ⅲ、函館商工会議所運営の強化充
実

1、加入会員の拡大と口数の増
大

2、共済事業等の拡大推進

3、部会・委員会活動の活発化

4、会員に対するサービス事業
の強化

5、会議所報「ともえ」の効果
的活用
6、財政基盤確立のための具体
的方策の検討

◎昭和六十三年収支予算(案)

昭和六十三年度の事業計画を推
進するための総括収支予算として
総額三億五千七百四十八万四千
円を計上し、昭和六十二年予算総
額三億三千三百二十七万円に対
し、七・三パーセントの増額予算
となりました。

◎運営資金借入枠の承認について
昭和六十三年度の会費納入時期
までの期間の運営資金借入につ
いて、借入枠を二千万円とするこ
とが承認されました。

◎(仮)青函圏特別委員会設置に
ついて
青函インターブロック構想実現
のための函館・青森の両商工会議
所合同による特別委員会設置が承
認されました。

◎本所議員改選日程について
今年行われる本所議員選挙の日
程が承認されました。

総会終了後、日本銀行函館支店
長・石本一詔氏を講師として、「
最近の金融経済情勢について」と
題する講演会が行われ、函館経済
の現状のほか、今後の函館の課題
では、トンネルによる経済効果を
活かして観光でのイメージづくり

や経済界での「人づくり」の重要
性などが述べられました。

本所商業部会開催

去る三月十八日(金)午後二時
から十一名が出席し、商業部会議
員部会が開催されました。

会議の内容は、最近の大型店と
小・中規模店舗等の動向について
ということと事務局から、第一種
・二種大型店の営業状況、三越と
そごうのサテライト店出店計画、
コンビニエンスストアの出店状況、
複合型中規模専門店の出店状況等
資料に基づいて実態報告があり、
意見が交換されました。

特に六十年代に入ってから急速
にその数を増やしている外来コン
ビニエンスストアに関して、
その影響と地元としての対応策等
について、活発に意見が交わされ
ましたが今後もこれら商業問題に
ついては引き続き調査研究をすす
めることとし部会を終了いたしま
した。

本所共済制度のご案内

特定退職金共済制度

この制度は商工会議所の会員事業所の従業員のための退職金制度で、普段から退職金の積立てをし、安心して退職金が支給できるようにする制度で、優秀な従業員の採用と定着性を高めるために有効な制度です。

◎制度の内容

。掛金は一人月額一、〇〇〇円より二〇、〇〇〇円までです。なお、年度途中での増額もできます。

。事業主、役員（使用人兼務役員を除く）もしくは、事業主と生計を一にする親族はこの制度に加入できません。

◎制度の特典

。事業主が負担する掛金は必要経費として計上できます。
。退職一時金の他に退職年金として受取することもできます。
。国の制度との重複加入も認められています。

●退職一時金金額表

(単位:円)

加入期間 \ 口数	20口	15口	10口	5口	1口
1年	240,000	180,000	120,000	60,000	12,000
5年	1,352,400	1,014,300	676,200	338,100	67,620
10年	3,303,200	2,477,400	1,651,600	825,800	165,160
15年	6,116,800	4,587,600	3,058,400	1,529,200	305,840
20年	10,174,800	7,631,100	5,087,400	2,543,700	508,740

(お問合わせ先) 函館商工会議所経理会員課 ☎23-1181

●お知らせ

本年は当商工会議所議員の任期満了（九月）の年にあたります。

これに伴い議員改選が行われますが、会員並びに特定商工業者（資本金五〇万円以上の法人等）の皆様には、選挙権、被選挙権が付与されています。

しかしながら、権利を行使するためには会費並びに特定商工業者負担金を完納していることが必要でありますので、この点ご留意願います。

なお、毎年会費納入時期は五月下旬になっておりますが、本年度につきましても、改めてご案内致しますので、早めにご納入下さるようよろしくお願い申し上げます。



事務局日誌

3 月

- *常議員会
 - 15(火) 第7回常議員会
- *総会
 - 25(金) 第5回通常議員総会
- *部会
 - 18(金) 商業部会
- *委員会
 - 4(金) 総務委員会
- *正副会頭会議
 - 1(火) 第49回正副会頭会議
 - 15(火) 第50回正副会頭会議
- *会議(日商)
 - 17(木) 第361回常議員会
 - 〃 第104回議員総会
 - 〃 第67回通常会員総会
- *会議(道商連)
 - 3(木) 正副会頭会議
 - 〃 第97回常議員会
 - 〃 第105回通常会員総会
 - 28(月) 全道商工会議所中小企業相談所長会議
- *審査会
 - 14(月) 小企業等経営改善資金の審査会
- *諸会議
 - 1(火) 函館市亀田商工会との懇談会
 - 〃 昭和63年度汚染負荷量賦課金の徴収業務委託商工会議所担当者研修会
 - 2(火) ニュメディア(VAN・CATV)推進懇談会
 - 5(土) 第44回国民体育大会昭和62年度全国高等学校総合体育大会函館市実行委員会第2回輸送警備専門委員会
 - 7(月) 北海道産業パワーアップ委員会函館地区懇談会
 - 〃 成功させよう青函博の会イベント対策部会
 - 〃 はこだて冬のイベント実行委員会総務部会
 - 9(水) 箱館五稜郭祭協賛会理事会
 - 10(木) 婦人会例会

- 12(土) 成功させよう青函博の会宿泊部会
- 〃 テクノポリス函館技術振興協会昭和62年度第3回理事会
- 16(水) 函館地域技術交流プラザ昭和63年度第11回例会
- 17(木) 日本商工連盟第7回理事会
- 〃 青函トンネル資材協力会役員会・臨時(解散)総会
- 〃 成功させよう青函博の会前売キャンペーン打合せ会議
- 22(火) みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会理事会
- 〃 函館観光協会総務・企画部会
- 23(水) 北海道納税推進運動渡島地方支部納税懇談会
- 〃 明日の北海道を拓く200人委員会総括グループ
- 〃 特定地域診断打合せ会議
- 〃 婦人会役員会
- 24(木) 市営競輪モニター懇談会
- 29(火) 成功させよう青函博の会正副会長会議・理事会
- 30(水) 箱館五稜郭祭募金委員会
- 〃 昭和62年度第6回小規模企業振興委員連絡会議

- *陳情・要望
 - 3(木) 東北新幹線盛岡・青森間の着工と函館までの延長に関する陳情
- *講習・催物
 - 8(火) 高度情報化講演会「CATVについての説明会」
 - 9(水) 経営相談
 - 11(金) 法律相談
 - 16(水) 発明相談
 - 22(火) 労働相談
 - 24(木) 新入社員のための店頭販売接客セミナー
 - 25(金) 法律相談
 - 29(火) 経営相談
- *刊行物
 - 20(日) 所報「ともえ」No.84(3月号)発行
- *相談・診断

金融	111	税務	381	経理	372	経営	106
労働	14	取引	0	その他	0	計	984
- *貸室

本館	21	別館	6
----	----	----	---
- *文書

受信	162	発信	10
----	-----	----	----
- *慶弔・その他
 - 4(金) 函館地方電気工事協同組合40周年記念式典並びに祝賀会
 - 5(土) 三越函館サテライト店地鎮祭並びに直会
 - 〃 北方歴史資料館新築落成披露パーティー
 - 7(月) 平戸札幌通産局長来函
 - 13(日) 青函トンネル開業津軽海峡線一番列車「はつかり10号」出発式
 - 〃 津軽海峡線しゅん功開業式・祝賀会
 - 〃 青函連絡船終航謝恩パーティー
 - 14(月) 陸上自衛隊石田連隊長、田畑基地隊司令而氏を送る会
 - 15(火) 函館ソフトウェア専門学院第1回卒業証書授与式
 - 27(日) 陸上自衛隊第343施設中隊誕生記念式典
 - 29(火) カールレイモン記念館修祓式並びに披露宴

65年の伝統と信用を誇る

早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川 政 名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話 (03) 946-0531 <代表>

発明相談 5月18日 水曜日午前10時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっておりますので、商工会議所相談課(23-1181・内線63番)にお申し込み下さい。

費好調や粉乳・練乳の需給引き締まりから生産・出荷とも堅調。

(3)その他製造業

段ボールでは、加工食品・青果物向けを中心に生産、出荷とも順調。また、合板でも安値インドネシア製品等の流入により市況が軟化しているものの、根強い需要を背景になお高水準の生産を続行。一方、漁網では、イカ刺網の更新需要は比較的順調ながら、主力北洋サケ・マス流し網の需要が依然低迷しているため、減産を継続。

(4)建設関連

建設業者の業況は、これまでの公共工事の発注増（主要5官公庁の年度初来発注累計額前年比+21.0%）や、個人住宅、ホテル、レジャー関連施設等民間建築工事の盛況を映じて高水準の手持ち工事を抱え引き続き活況を呈している。こうしたことから、セメントでも出荷が好調で、目一杯の生産を続けているが在庫は減少気味。また、生コン等建設資材の荷動きも好調を継続。

(5)漁業

沿岸スケトウ漁（渡島・松山支庁調べ）は史上2番目の水揚げ（水揚量2月末累計前年比+13.1%）ながら、水揚額は魚価安から前年を下回っている（水揚額同△17.2%）ほか、2月解禁の近海マス漁も目下のところ魚群の来遊が薄く低調。一方、噴火湾養殖ホタテ漁は、このところ好調な水揚げを続けている。

(6)消費動向

2月中の市内大型小売店（10か店）の売り上げは、防寒靴等の身回り品や雑貨類が順調な売れ行きを示したものの、寒さの強

まりから主力春物衣料の出足が低調であったため、全体ではほぼ前年並み（前年比+0.7%）に止まったが、3月入り後は再び持ち直している模様。一方、耐久消費財では、家電販売がCD、VTR等AV商品や電子レンジ、洗濯機を中心に好調を継続しているほか、自動車販売も商用車、ニューモデル車の好売れ行きから3カ月連続2桁台の伸び（2月中管内新車販売台数前年比+10.7%）。また、観光・レジャー面でも、青函トンネルブーム等を映じて観光入込み客数は近年にない増加を示し、市内ホテル、観光施設等も盛況裡に推移。

3. 金融事情（2月中）

○実質預金は、前月末休日に伴う法人筋の流動性預金剥落が響き、前年（40億円増）とは様変りの月中69億円の減少。また、貸出も前月末休日要因から、計数的には月中2億円減（前年76億円増）となったが、地体向けつなぎ資金のほか、増加運転・設備資金等も建設、卸・小売筋を中心にみられ、前年比伸び率は上昇傾向。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、長期プライムレートの引き下げ等を映じて月中△0.030%と前月上昇（+0.002%）のあと再び低下。

○銀行券は、官・民給与資金や年金支払等を中心に15億円の発行超となったが、発行超幅は観光・レジャー資金等の還流から前年（同19億円）比縮小。

○財政収支は、保険、租税の受け入れが嵩んだものの、公共事業関係費、郵貯の支払増を中心に、月中10億円の払超（前年同6億円）。

2月

昭和63年3月28日

地域の

景況

日本銀行函館支店

1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、需要の好調持続を背景に、企業収益が大幅に改善しているほか、経営者の景況感も一段と改善するなど、管内景気は引き続き拡大傾向を辿っている。

○すなわち、製造業では極く一部の先が減産を続けているものの、水産加工、電子部品、製缶機械、乳加工品では個人消費の好調持続から、合板機械、セメント・生コンでも公共・民間投資の盛行から、フル生産ないし高操業を持続しており、ここへきて高性能機械の導入等により増産姿勢を強める先もみられる。一方、非製造業でも、土木・建築筋が、住宅、ホテル、レジャー関連施設等民間建築の盛り上がりから活況を呈しているほか、自動車・家電販売も好調を持続しており、観光・レジャー面でも青函トンネルブーム等を映じて市内ホテル・観光施設等は盛況裡に推移。

この間、雇用情勢をみると、建設、卸・小売、サービス等の求人増を主因に引き続き改善傾向。

こうした状況下、2月に実施した管内企業短期経済観測調査結果をみると、企業の63年度設備投資計画は、非製造業が高水準

の前年度をさらに上回るうえ、製造業でも合理化・能力増強投資に踏み切る先が増加しており、企業収益も売り上げの増勢持続や原燃料コストの低下等から大幅な改善を示している。このため、企業の業況判断も前回調査に比べ好況感がさらに強まっている。

○金融面では、2月中の貸出は前月末休日に伴う高止まり分の剥落が響き前年とは様変りの減少となったが、地公体向けつなぎ資金が嵩んだほか、企業需資も増加運転・設備資金を中心に増加基調にある。管内銀行の貸出約定平均金利は長期プライムレートの引き下げ等を映じて前月上昇のあと再び低下。

2. 主要業種別動向

(1) 機械

電子部品、合板機械では、輸内需の好調を背景に受注が増加の一途を辿っているため、目一杯の生産を継続しており、ここへきて新鋭機械の導入等により増産体制を強化している。また、製缶機械でも高水準の受注残を抱え外注を一段と拡大するなどにより増産を図っている。一方、造船では、中堅筋のホタテ漁用アルミ船等は比較的順調。

(2) 食料品

水産加工では、春の行楽需要期を迎えて、消費地問屋筋からの買い注文が漸次上向ってきているため、大方の先が高操業を持続。また、飼料・魚油では、スケトウ豊漁により原魚手当てが順便なうえ、国際穀物市況の持ち直し等もあって、荷動きが活発化しているほか、乳加工品でも、飲用牛乳の消

函館市産業中分類別前年比較表（従業者4人以上）（単位：人、万円、％）

	事業所数			従業者数			製造品出荷額等		
	60年	61年	61/60	60年	61年	61/60	60年	61年	61/60
総 数	614	613	99.8	12,667	12,517	98.8	22,459,051	23,306,037	103.8
食 料 品 製 造 業	230	229	99.6	6,040	6,040	100.0	11,404,986	11,275,793	98.9
飲料・飼料・たばこ製造業	11	13	118.2	481	472	98.1	2,774,742	3,732,224	134.5
繊維工業製品製造業	22	20	90.9	582	511	87.8	834,261	699,790	83.9
衣服・その他繊維製品製造業	17	16	94.1	160	144	90.0	71,345	68,683	96.3
木材・木製品製造業	17	18	105.9	374	385	102.9	691,272	656,343	94.9
家具・装備品製造業	45	46	102.2	356	356	100.0	251,952	272,839	108.3
パルプ・紙・紙加工品製造業	10	9	90.0	150	152	101.3	321,524	304,710	94.8
出版・印刷・同関連産業	73	71	97.3	853	844	98.9	1,048,255	1,073,354	102.4
化 学 工 業	7	7	100.0	204	197	96.6	718,546	693,939	96.6
石油製品・石炭製品製造業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
プラスチック製品製造業	6	6	100.0	88	85	96.6	176,989	195,110	110.2
ゴム製品製造業	4	5	125.0	191	212	111.0	152,902	150,871	98.7
皮革・同製品・毛皮製造業	1	1	100.0	×	×	×	×	×	×
窯業・土石製品製造業	15	15	100.0	241	216	89.6	298,165	307,425	103.1
鉄 鋼 業	7	9	128.6	162	189	116.7	380,647	405,864	106.6
非鉄金属製造業	3	2	66.7	44	×	×	24,038	×	×
金属製品製造業	56	59	105.4	577	590	102.3	535,411	552,791	103.2
一般機械器具製造業	39	38	97.4	778	765	98.3	854,178	867,163	101.5
電気機械器具製造業	3	4	133.3	17	24	141.2	7,088	14,521	204.9
輸送用機械器具製造業	20	17	85.0	1185	1,152	97.2	1,783,045	1,895,505	106.3
精密機械器具製造業	4	3	75.0	31	24	77.4	27,155	20,538	75.6
その他の製品製造業	24	25	104.2	×	×	×	×	×	×

統 計 資 料

第一種函館市内大規模小売店舗売上高（10店） 昭和63年2月

品 名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣 料 品	2,154,340	59.3	98.9
身 回 品	372,460	57.5	104.8
雑 貨	621,402	78.8	102.4
家 庭 用 品	552,581	80.5	98.0
食 料 品	1,539,306	102.9	99.8
食 堂 ・ 喫 茶	156,480	70.0	101.9
サ ー ビ ス	86,697	89.8	175.0
そ の 他	304,157	77.5	102.4
総 計	5,787,423	72.7	100.7

※10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパズラザ湯の川店の各店をいう。

経済の窓

昭和61年

工業統計調査
結果概要

函館市では、このほど「昭和61年工業統計調査」（指定統計第10号、函館市分）結果をとりまとめました。

この調査は、全国の製造業を対象に事業所数、従業者数、製造品出荷額、付加価値額などを調査し、製造業の構造及び生産に係わる諸活動の実態を明らかにするため、通商産業省が明治42年以来、毎年12月31日現在で実施しているものです。

以下、従業者4人以上の事業所を対象とした結果の概要についてお知らせ致します。

市内の事業所数は613で前年（60年）調査に比べ1事業所の減少、従業者数も12,517人で同1.2%（150人）減少しましたが、製造品出荷額等は2,330億6,037万円と同3.8%（84億6,986万円）増加しています。

業種別にみると、当市基幹産業の水産加工業を含む「食料品製造業」は、従業員数が前年並となったものの事業所数、製造品出荷額とも減少し、同業種出荷額の全体に占める割合も48.4%と前年（50.8%）を下回りました。

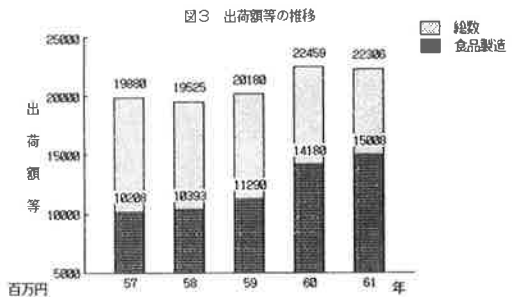
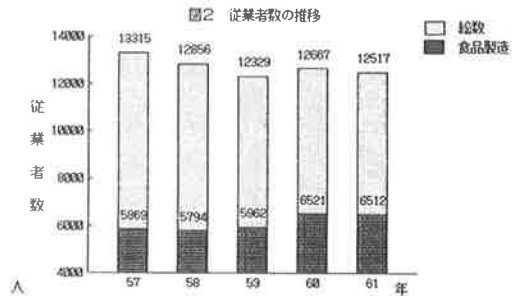
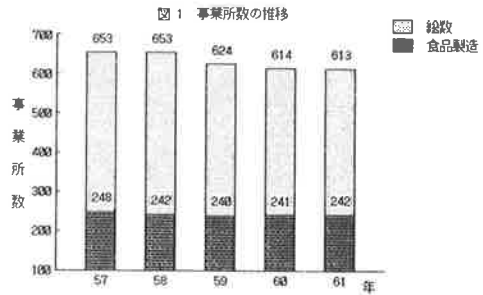
一方、「飲料・飼料・たばこ製造業」が昭和60年に民営化された日本たばこ産業株の影響で前年の5事業所、出荷額802.0%増加にひきつづき、2事業所、出荷額34.5%増加となり、出荷額全体に占める割合も16.0%と前年（12.4%）を上回っています。

また、もう一方の当市主要産業である造船業を含む「輸送用機械器具製造業」では、事業所数、従業者数とも減少したものの、出荷額で11億2,460万円、6.3%前年より増加し、出荷額全体に占める割合も8.1%と前年（7.9

%）より伸びています。

他では「電気機械器具製造業」が前年に比べ出荷額で2倍、従業員数で41.2%増加、「プラスチック製品製造業」も出荷額を同10.2%伸ばしています。反対に「精密機械器具製造業」「繊維工業製品製造業」では、事業所数、従業者数、出荷額ともに減少傾向となっています。

※グラフ中の『食品製造』は産業中分類の「食料品製造業」と「飲料・飼料・たばこ製造業」の合計です。



事業主の
ための
健康管理入門



●著者／ 社団法人産業労働研究所理事
桐木 逸朗

①健康の守護神
ホームドクターを育てよう
よく、弁護士と医者友人にも
て、といわれています。経営者にと
って健康は大切な資本なので、す
から、病気になるてあわててかか
るのでなく、健康な時に健康な状
況をチェックし相談にのつてくれ
る信頼できる医者を持つことは、



ホーム・ドクターは親の代から
というのがもつともよいのですが、
これから探そうというときは、つ



経営の安定と繁栄と
いう点からみて大変
大事なことなのです。
もともと経営者にと
って健康とは単に
病気やけがの状態に
ないというだけでは
なく、経営に対して
適確な判断と行動が
できる状況にあるこ
とでなければなりま
せんから、親代々の
かかりつけの医者が
いて、経営者とその
家族のことをよく知
っていてもらえば、
健康の状態について
適切な助言をしても
らうことができ、安
心して経営活動に取
り組むことができます。
このようなかかり
つけの医者を「ホー
ム・ドクター」と呼
んでいます。

- ぎのような点に留意してください。
- (1) 個人医院であること ホーム・ドクターは大学病院や公・私立病院の医者よりも個人医院の方がよいのです。大きな病院ですと医者が変りやすいので、かかりつけというわけにはゆきません。個人医院の場合一度信頼関係ができますと、家族ぐるみで親代々のホーム・ドクターへとつながってゆくこともできます。
 - (2) 近所の医者の方がよい 病気はいつ発生するかわからないのですから、イザというとき経営者の自宅の近所であるにこしたことはありません。
しかし近所にホーム・ドクターとして信頼に足る医者がみつからない時は多少遠くなくても仕方ありません。とくに健康な時に健康相談にゆくのでしたら近所にこだわる必要はないでしょう。ことに最近ではマイカーを持つ経営者が少なくありませんから、多少遠くても対処できると思えます。
 - (3) 聞き上手、説明上手な医者 健康相談にのつてもらうのですから、経営者が自分の健康状況を気軽に話せるような医者であることが必要でしょう。つまり聞き上手な医者であることがのぞましいのです。そして相談に對してわかりやすく説明してくれる医者であってほしいものです。

いいメガネを責任をもっておすすめします



函館市千代台町16番29号(千代台バス停横) ☎52-4034 **P** あり

これ話し上手な医者ということです。親身になって相談ごとに耳を傾けてくれる医者を探してください。

(4)無暗に注射をうたず、薬も簡単にくれない医者 病気になるにつけてこんでも、じっくりと問診や聴診に時間をかけ、注射もあまりうたず、薬も必要最少限しかくれない医者は信頼できる医者といってもよいでしょう。こうした医者はあまり患者に評判がよくないこともあります。が、薬も注射もくれないで家に帰って寝ていなさい”と云われたら、怒っている人に会ったら、その医者の名前、住所を控えておいてください。

(5)患者離れの良い医者 すぐれた医者は、自分の医院のなかで対処できる病状の範囲を充分に心得ています。そしてよく診断がつかないとか自分の専門外だとかあるいは病状からみて手に負えないというときには、専門医や専門病院を紹介してくれます。また患者の症状が回復してくれば、できるだけ早く治療をうらまきろうとする医者も信頼できます。

ホーム・ドクターは健康全般についての相談をするのですから内科医がもつともふさわしいと思います。しかし小児科医でも内科医を兼ねていることが少なくありませんからあまりこ

わらなくてもよいでしょう。ホーム・ドクターのところには年二回ぐらいは訪ねて健康状態について雑談してみたり電話で指示をしてみたりするよう日頃のつきあいを大事にしておいてください。健康であればあるほどホーム・ドクターを上手に育ててほしいものです。

第②章

丈夫な歯づくりに心がけよう 経営者の人たちは、歯の健康管理については大変関心が薄いようです。疾病統計をみますとこれは経営者だけに限らず一般にいえることで、歯の治療を受けている人たちの多くが、途中で治療を中断したまま放置し、痛くなるとまた歯科医を訪れるといったパターンをくりかえしているようです。歯に対する健康管理を怠りますと、いわゆる虫歯や歯槽膿漏、歯肉炎といったいろいろな口腔内の病気がおこりますので、それを防ぐために歯の健康増進対策が必要なのです。

もともと歯の健康増進対策は0才からなされるのがのぞましいので、食事指導、歯みがき指導、栄養指導など虫歯の発生を防ぐ対策に小さいうちから参加させておけば大きくなっても丈夫な歯でいられる筈です。しかし成人になつてきますと、慢性虫歯に対する検診活動、治療活動、歯槽膿漏予防

などが主要なポイントとなるべきだと思えます。ところで歯の健康増進対策として予防対策および健康増進対策としてのもつとも効果があるのが歯の正しいブラッシングだといわれています。ブラッシングの固さにはS、M、Hと三種類があり、歯医者にきいて選ばれることを是非おすすめます。

この歯の健康増進も子供さんやお孫さんがいれば、その人たちがリーダーとして実施した方が、長続きがしますし、リーダーに毎日あるいは1週間ごとにその成績を評価して本人に伝える役目を担わせることで、一層張切って推進してもらえるからです。

歯の正しいみがき方(ブラッシング)については、歯科系の大学に問い合わせれば指導を受ければよいでしょうし、近くの歯医者でも教えてくれると思います。そして高齢でも自分の歯で食事ができるよう努力してください。



- かがねさきいか
- 焼するめ
- ゲンロール
- 函館かがね
- 荒波ソフト
- するめそうめん



イシオ食品株式会社

代表取締役社長 石尾 広道

〒042 函館市湯浜町1番17号 TEL 0138(53)0102

FAX 0138(55)5536

取引銀行 富士銀行函館支店



87%の企業がリース利用

陳腐化早い機器に最適

リースとレンタル、その活用法

(社)リース事業協会

業務部長代理 森 住 祐 治

○借りて使うこと

リース (Lease) もレンタル (rental) も、「賃貸借」を意味する用語であるが、日常生活ではこれらを混同して使っていることが多い。この二つの取引は言葉が違いうように、その対象とする物件や取引の条件などがいくらか異なっている。その違いを一言で説明すると、「リースは『長期の賃貸借』(二～六年)、レンタルは『短期の賃貸借』(一日、一週間単位)」ということになる。モノを借りることは今に始まったことではない。古くから借地・借家、結婚式の貸衣装や貸本などと限られたモノについての賃貸借があった。今では個人の生活用品から企業の機械設備に至るまで、ありとあらゆるモノが「借り物」ですませるようになってきている。買わなくても所有しなくても「使用できれば良い」という考え方が一般的になった。個人でも企業でも「モノ」に

対する価値観が変わってきたということであろうか。

○リースは企業、 レンタルは個人に

自動車やOA機器では、個人向けのリースも見受けられるが、一般にリースは企業が機械設備を導入する手段として利用されている。リース利用調査(昭和六十一年)によれば、八七・三%の企業がリースをすでに利用しており、企業用の機械設備のほとんどがリースの対象になっている。

*リース利用の多い物件Ⅱ一般事務機(OA機器)、通信機器(電話機、ファクシミリ)、コンピューター、ソフトウェア、自動車、産業機械、工作機械、商業設備

これに対してレンタルは主として個人向けに利用されている。もつとも建設機械や自動車のレンタルは企業向けが多いと言わ

リースとレンタルの比較表

	利用目的	対象物件	ユーザー	契約期間	物件の選定	中途解約
リース	企業が機械設備を調達するため	すべての動産	特定の一社	2～6年	ユーザーが自由に選ぶ	認められない
レンタル	個人が一時的に使用するため	特定の汎用物件	不特定多数	1年未満、未週単位	レンタル会社の在庫から選ぶ	認められる

れている。個人がレンタルを使うのは、①スポーツ・レジャーなどでごく短期に、②入院や育児のために比較的長期に、③車やゴルフ用具など持ち運びの手間を省くために、④ビデオや絵画など変化を楽しむために、⑤おしぼりやオムツのメインテナンスを省くために、などの理由があげられる。

このようにリースとレンタルでは物件や期間など取引の内容が違ってくる（別表参照）。

○リースは得か損か

リースもレンタルも、今や損得ぬきで利用されている面もある。しかし、損得を考えるとなれば、いずれも所有のデメリットを借りるメリットが上回るかどうかにつきると思われる。そこで次に、リースのメリットをあげてみよう。

○多額の資金調達を必要としないので資金にゆとりができる。

○リース料は変更されないの、インフレ・ヘッジ効果がある。

○設備の陳腐化に弾力的に対応できる。

○リース料は損金処理ができる。

○事務の省力化が図れる。

リースを利用すれば得になるかどうかは、

物件の種類、利用する企業の置かれた状況によっても異なってくる。一般的には、陳腐化の早いコンピューターやOA機器、金額の張る機械設備などはリースに適していると言える。というのは、リースで実際にその設備が使用できる期間だけ借りることにすれば、常に新しい高性能の機械で生産できるようになる。それにリース料は月額均等払いで、いったん決めたリース料は変更されない。このこともユーザーにとって有利に働く。

何ごとにも表と裏があるように、リースにもデメリットもあることに留意することが必要である。①リース料の支払いが固定化する、②物件は自分のものにならない、③金利負担が重い、などがある。陳腐化しない物件、自分のものにしたいた物件、資金に余裕がある企業などでは無理にリースを使うことはない。モノを借りるときの注意事項としては、①目的を明確にしておくこと、②契約内容を吟味すること、③相手を選ぶこと、であり、当然のことながら物件を事前事後に十分確認することであろう。

【森住祐治（もりずみ・ゆうじ）氏の略歴】

昭和18年、福岡県生まれ。昭和43年明治大学法学部卒業。産炭地域振興事業団（現・地域振興整備公団）を経て、46年7月、リース事業協会に入り、現在、業務部長代理。著書は「リースとレンタル活用法」（日本実業出版社）、「リース取引の実態」（日本経済新聞社）など多数。